

株式についてのご案内

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当を行う場合）
株式の名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒137-8081
（お問い合わせ先） 郵便物送付先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1 単 元 の 株 式 数	100株
単元未満株式の買取請求場所	上記の名義書換代理人、 同事務取扱所および同取次所
公 告 掲 載 紙	日本経済新聞

当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ（<http://www.mapple.co.jp/>）に掲載しております。

【お知らせ】

●株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479（本店証券代行部）

0120-684-479（大阪支店証券代行部）

）通話料無料

インターネットアドレス<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 昭文社

株式会社 昭文社（証券コード No.9475）

〒102-8238 東京都千代田区麹町3-1 TEL03-3556-8111

ホームページアドレス <http://www.mapple.co.jp/>

第46期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



株式会社 昭文社



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第46期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当期の出版業界においては、一部文芸書における話題作のヒットもあり書籍部門の売上は前年実績を上回ったものの、雑誌部門においては依然低迷した状況が続いております。またGIS（地理情報システム）業界におきましては、官庁における統合型GIS構築へ向けた需要拡大が期待されるものの、価格競争等の厳しい状況が続いており、民間においても高額な投資を伴うGISシステム構築への躊躇が見られるなど、受注案件の少額化が進んでおります。このような状況のなか当社グループでは、SIMAP（サイマップ：昭文社統合地図情報システム）の地図データベース・ガイドデータベースの強化充実に向けて邁進し、「リアルタイムメンテナンスプロジェクト」を立ち上げ情報源である多くのチェーン展開企業等から直接更新情報を入手し、その収集された各種情報を入手と同時にデータベースへと反映できる体制を確立してまいりました。これにより情報収集及びデータベース更新の迅速化、多様化を実現し、新鮮で正確な情報をタイムリーに提供できる体制も確立してまいりました。

出版事業におきましては、出版事業と電子事業との融合を目的とした「メディアミックス」をさらに推進し、『文庫判東京』や『ホテルガイド』、また独創的な商品として評価いただいている『リンクリンク！』等の多くの商品においてMGコードやQRコードを掲載し、それに対応した各種Webサイトを開設することでメディアミックスの提供を実現してまいりました。また低迷する出版市場における需要を喚起すべく、新国内ガイド『にっぽんの旅』シリーズ（全20点）、海外ガイド『トラベルストーリー』シリーズの発増刊や、新分野として今期より開始した『生活実用書』シリーズ全7点の出版等積極的な出版を行いました。3月には青森県とのタイアップにより、全掲載施設に対する利用者のホッペを「評価の声」として掲載した新ガイド『サーベイ青森』も出版いたしました。また、愛知万博の開催を機に出版した『愛知万博アクセスマップ』や『マップルマガジン愛知万博へ行こう！』等は、近年にない出版部数となりました。しかしながら、昨年に比べて海外ガイド等は順調に回復しているものの、

旅行シーズンの最盛期である夏場に売上が伸び悩んだことに加え、度重なる台風の上陸や新潟県中越地震等の影響により当社出版物の書店店頭における売上が鈍ったこと、また今年4月にピークを迎える市町村合併への対応商品出版時における入れ替え返品を極力減少させるべく、合併予定地域の書店店頭在庫を調整し書店への在庫を抑制したこともあり、売上高は減少する結果となりました。

また、電子事業におきましては、子会社である日本コンピュータグラフィック（株）のシステム開発力を生かした『ちず丸ASP』や『デフォルトマップ作成ツール』等の提供が増加するとともに、当社独自コンテンツであるガイドデータや抜け道データをカーナビメーカー各社に対して提供できたことにより売上高が増加しました。11月には独立行政法人との共同研究の成果として、高齢者や障害者を含むあらゆる歩行者の移動を支援する「バリア・バリアフリーマップシステム」を発表し、福祉行政への支援も行っていました。一方、中央官庁における大型入札案件では、以前にも増して価格競争の激化や案件の小型化が進み期待通りの受注ができませんでしたが、利益面におきましては前年実績を大きく上回る結果を得ることができました。この営業利益が大幅に改善した主な要因は、粗利率の高いデータ販売やASP関係の売上が増加したことによるものであります。

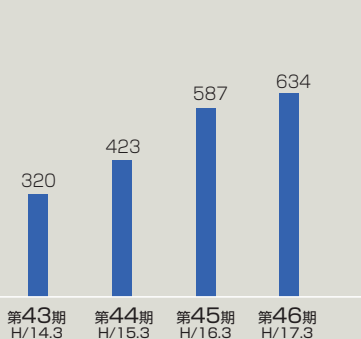
この結果、売上高は179億51百万円（前期比4.3%減）、経常利益は16億4百万円（前期比18.5%増）となりました。売上高の減少に対し、経常利益の増加幅が大きくなった主な要因は、電子事業における粗利率の改善と、直接利益に影響のある返品高が減少したことによるものであります。また、特別損失として若干の投資有価証券評価損等を計上したものの当期純利益は9億12百万円（前期比28.7%増）となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって業務に精励する所存です。なお一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

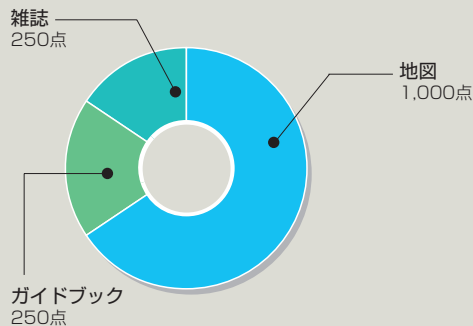


代表取締役社長
青柳 栄次

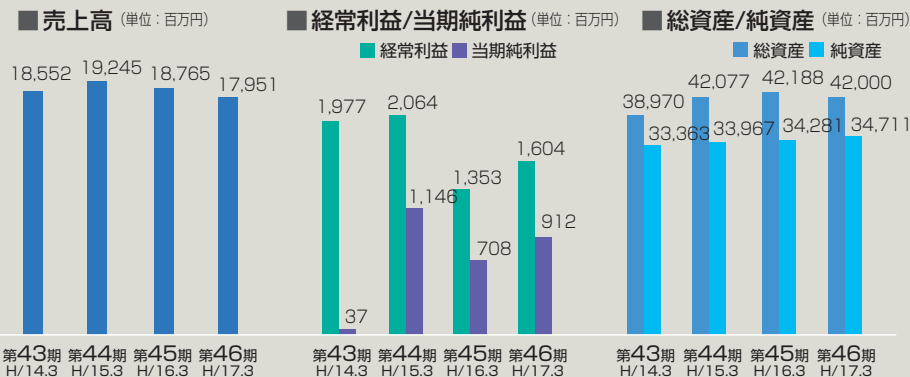
■ SiMAP移行済み点数



■ 市販出版物目別出版点数



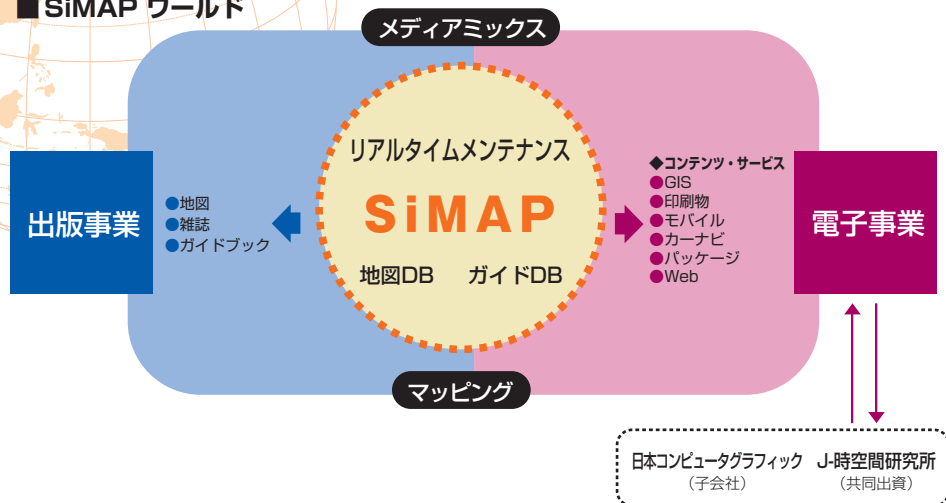
【業績の推移（連結）】





事業への取り組み

■ SiMAP ワールド



出版事業の状況

当期の出版事業では、市場における需要を喚起すべく、国内ガイドブック『にっぽんの旅』シリーズの発刊、海外ガイドブック『トラベルストーリー』シリーズの増刊を図りました。また、セントレア（中部国際空港）の開業や愛知万国博覧会の開催で注目の集まっている名古屋を取り上げた『今、名古屋が変わる!! '05』『愛知万博アクセスマップ』『愛知万博へ行こう!』などをいち早く書店にて販売しました。特に愛知万博関連の商品では、開催前から大変高い評価をいただきました。また、東京タクシーセンターの監修により通り名での検索やトイレの所在地なども掲載し通常のカーナビでは得られない情報を網羅した『スーパーマップル東京詳細道路地図』を発行するなど、従来の商品に付加価値を高めた商品を出版しました。さらに、出版物の利点とインターネットや携帯端末の利点を融合させた商品としてのメディアミックスの推進にも力を入れてきました。このほか、生活実用書を出版するなど旅行・地図分野以外の新しいジャンルでも積極的に事業を展開しました。

事業の概要 (SiMAPの状況)

当社独自の地図情報システム「SiMAP (サイマップ: Shobunsha Integrated Mapping System)」は、地図自動作図機能と地図情報管理機能を兼ね備えたデジタル地図・ガイドデータベースシステムです。このSiMAPにより管理されるデータベースは、スーパーマップル、マップルマガジンなど当社の出版物制作に活用されるだけでなく、デジタルコンテンツとして、各企業・自治体向けGIS (地理情報システム) 用データ、一般コンシューマー向けカーナビ、携帯端末機器などに採用されており、まさにコンテンツの「ワンソース・マルチユース」を実現するものです。この地図・ガイドデータベースをいかにリアルタイムに更新し、世に送り出せるかが企業の力といえます。当社では、更新情報を収集するため、現地を常時実走する体制をとる一方で、チェーン店を展開する民間企業から直接情報を入手することで、より確実に迅速な情報更新を実現しています。今話題の市町村合併関連の情報収集についても、当社が長年培ってきた各地元との信頼関係を通じて蓄積した膨大な事前情報をもとに、他社の追随を許さない情報収集の速さと深さを誇っています。今後は、更新された地図・ガイド情報を当社製品を通じて迅速にお客様にお届けすることで、さらに新鮮で正確な情報の提供に努めてまいります。

電子事業の状況

電子事業では、電子地図市場での価格競争が激化している中、各分野において堅調に業績を伸ばすことができました。例えば地図データ提供においては、各県警察本部の通信指令システム向け地図として新たに8件の採用がありました（全国31カ所の警察本部で導入）。また、企業GIS向けの地図データや簡易GISを実現する開発ツール等、企業規模に合ったソリューション提供が拡大したことによりGIS分野の売上が増加しました。さらにサービス分野においては、Webサイトでの物件案内図として当社サーバーから地図を配信する「ちず丸ASP」の企業ユーザー利用数が3割増加したことや、一昨年に商品化した、印刷物やWeb向け掲載地図を簡単安価に作成する「デフォルトマップ作成ツール」が飛躍的な販売実績を示したことで、電子事業全体の実績向上に大きく寄与したばかりでなく、新規顧客の拡大を図ることができました。

今後も顧客のニーズに応える良質なコンテンツ作成と配信技術における優位性を確保し、出版事業に続く収益の柱を目指して事業展開を図ってまいります。



トピックス(出版事業)

今期の主な新商品

愛・地球博へでかけよう。「愛知万博関連マガジン&マップ」を発売！
2005年3月から9月まで開催される愛知万博（愛・地球博）の関連商品を発行しました。

『今、名古屋が変わる!! '05』
名古屋・東海地区のビッグプロジェクトを最新情報で案内。愛・地球博、中部国際空港など、テーマ特集と地図で案内する楽しい一冊です。



マップルマガジン
『愛知万博へ行こう!』
「愛・地球博」の徹底特集本。巻頭大判地図では「愛・地球博」周辺アクセスマップを入れて、親切に会場案内しています。



『愛知万博アクセスマップ』
愛知万博会場へのアクセス情報、セントレア（中部国際空港）の情報、愛知万博の開催にあわせて開通・開業する高速・鉄道の最新情報がよくわかる便利な地図&ガイドです。



東京タクシーセンター監修の
『スーパーマップル東京詳細道路地図』を発売！

カーナビでは得られない情報が盛りだくさんで、東京の道路がわかるテーマ図・データが満載です。



地図・旅行書分野にとどまらず、新たなジャンルである生活実用書も続々と発売！

『超強力おとりよせBook』
ジョン・キョンファの『今日も、明日も、キムチ。』
『三浦家の元気な食卓』など。



トピックス(電子事業)

あらゆる歩行者の最適ルート提案するシステム 「バリア・バリアフリーマップシステム」を完成

高齢者や障害者を含むあらゆる歩行者の移動を支援するために、目的地までのルート案内や施設案内を行うシステム商品を開発いたしました。このシステムは、バリア・バリアフリー情報をデータ化し、「健常者」のほか、「車椅子を利用」「杖を利用」「ベビーカーを利用」など歩行者に応じた条件を設定し、それぞれの身体状況に応じた最適なルートを表示する機能を保有しております。当システムを各地方自治体へ販売するとともにバリア・バリアフリー情報の取得方法など総合的な支援を行い、各地方自治体の福祉行政を支援してまいります。



渋滞地点の迂回ルート用に抜け道データをカーナビ各社に提供

当社ではこれまで道路地図帳『渋滞ぬけみち道路地図』に掲載の、渋滞地点の迂回ルートに関する抜け道データをカーナビ各社に提供してきました。『渋滞ぬけみち道路地図』は初版発行以来、渋滞地点やその迂回ルートを案内する道路地図として当社が独自に基準を設け編集した商品であり、これらの抜け道データをすでにパイオニア、パナソニック、クラリオン、富士通テンのカーナビメーカー各社へ提供を行っているほか、この春からはトヨタの純正カーナビに搭載が決定しています。



パイオニア株式会社のHDD【サイバーナビ】抜け道表示例



トピックス(今後の動向)

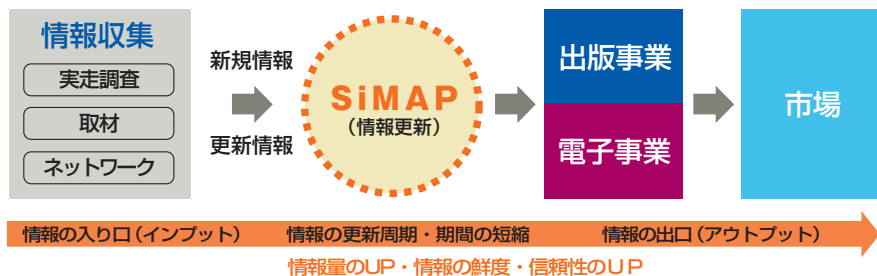
“地元行政と出版社の共同制作”で話題 「サーベイ青森 2005~2006」

青森県観光協会の出口調査をもとに、県内を訪れた観光客の声がそのまま誌面に掲載された、新しいスタイルの観光ガイドを発売しました。本誌の発行は、観光振興とともに利用者の声を集計して各施設にフィードバックし、施設の改善やレベルの向上、観光エリア全体の活性化につなげようというのが狙い。そのため、掲載の観光関連施設884件すべてに、観光客の評価と声、お店側のコメントが掲載され、○△を用いた評価も明示されています。地元では予想を上回る売れ行きをみせました。今後、こうした行政と全国を網羅する営業ネットワークをもつ当社が提携した地元発の観光ガイドの製作を他の自治体にも呼びかけていきます。



リアルタイムメンテナンスの推進でSiMAPをさらに強化・充実

インターネットや携帯端末が普及した今日、地図・ガイド情報のリアルタイム更新は利用者の当然の願いです。例えば、セントレア（中部国際空港）が2005年2月17日に開港したら、その日見る地図には、ぜひ掲載してほしい。入居しているレストランや売店のガイド情報も提供してもらいたいなど。SiMAPデータベースのさらなる強化・充実を図るため、当社では、情報更新スピードを一気に加速しています。今後も「リアルタイムメンテナンス」を推進し、いち早く詳細な最新情報の伝達や出版物・デジタルコンテンツへの展開を実施してまいります。



商品紹介

品目別売上高比率(連結)

市販出版物	77.3%
特別注文品	5.3%
電子出版	13.2%
広告収入	4.2%



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	当期 2005.3.31	前期 2004.3.31
資産の部		
流動資産	20,958,546	20,298,981
固定資産	21,042,027	21,889,041
有形固定資産	11,137,294	11,403,151
建物及び構築物	4,427,218	4,673,417
土地	6,380,286	6,380,286
その他	329,789	349,447
無形固定資産	8,059,273	8,637,270
データベース	7,814,876	8,149,996
その他	244,397	487,274
投資その他の資産	1,845,459	1,848,619
投資有価証券	1,313,176	1,220,790
その他	741,598	1,051,155
貸倒引当金	△209,316	△423,325
資産合計	42,000,574	42,188,022

(単位：千円)

科目	当期 2005.3.31	前期 2004.3.31
負債の部		
流動負債	5,604,565	6,223,230
固定負債	1,501,502	1,494,052
負債合計	7,106,067	7,717,282
少数株主持分の部		
少数株主持分	182,598	188,914
資本の部		
資本金	9,903,870	9,903,870
資本剰余金	10,708,236	10,708,236
利益剰余金	14,708,076	14,131,785
株式等評価差額金	309,010	233,479
自己株式	△917,284	△695,544
資本合計	34,711,907	34,281,825
負債、少数株主持分及び資本合計	42,000,574	42,188,022

連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当期 2004.4.1~2005.3.31	前期 2003.4.1~2004.3.31
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益	17,951,010	18,765,128
営業費用	16,301,082	17,348,950
営業利益	1,649,928	1,416,178
営業外損益の部		
営業外収益	72,361	46,782
営業外費用	118,228	109,171
経常利益	1,604,060	1,353,789
特別損益の部		
特別利益	134	4,827
特別損失	26,540	34,056
税金等調整前当期純利益	1,577,654	1,324,560
法人税、住民税及び事業税	668,881	601,663
法人税等調整額	2,689	20,555
少数株主損失	6,315	6,575
当期純利益	912,398	708,917

連結剰余金計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当期 2004.4.1~2005.3.31	前期 2003.4.1~2004.3.31
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	10,708,236	10,708,236
資本剰余金期末残高	10,708,236	10,708,236
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	14,131,785	13,775,418
利益剰余金増加高	912,398	708,917
当期純利益	912,398	708,917
利益剰余金減少高	336,107	352,551
配当金	336,107	341,051
役員賞与	—	11,500
(うち監査役員賞与)	(—)	(1,500)
利益剰余金期末残高	14,708,076	14,131,785

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当期 2004.4.1~2005.3.31	前期 2003.4.1~2004.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775,485	3,023,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,111	△385,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△940,530	△874,321
現金及び現金同等物の増減額	1,374,843	1,764,511
現金及び現金同等物の期首残高	10,556,296	8,791,784
現金及び現金同等物の期末残高	11,931,139	10,556,296

財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2005.3.31	前期 2004.3.31
資産の部		
流動資産	19,737,602	19,041,571
固定資産	20,441,163	21,000,273
有形固定資産	10,135,714	10,332,099
無形固定資産	8,038,661	8,393,697
投資その他の資産	2,266,787	2,274,476
資産合計	40,178,766	40,041,845
負債の部		
流動負債	4,842,110	5,137,090
固定負債	548,023	554,583
負債合計	5,390,133	5,691,674
資本の部		
資本金	9,903,870	9,903,870
資本剰余金	10,708,236	10,708,236
資本準備金	10,708,236	10,708,236
利益剰余金	14,800,134	14,210,581
利益準備金	244,000	244,000
任意積立金	13,100,000	12,100,000
別途積立金	13,100,000	12,100,000
当期末処分利益	1,456,134	1,866,581
株式等評価差額金	293,676	223,027
自己株式	△917,284	△695,544
資本合計	34,788,632	34,350,171
負債・資本合計	40,178,766	40,041,845

損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	当期 2004.4.1~2005.3.31	前期 2003.4.1~2004.3.31
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益	17,162,887	17,858,767
営業費用	15,559,101	16,490,307
営業利益	1,603,786	1,368,459
営業外損益の部		
営業外収益	60,882	41,300
営業外費用	46,778	40,269
経常利益	1,617,890	1,369,491
特別損益の部		
特別利益	54	2,044
特別損失	22,319	25,126
税引前当期純利益	1,595,625	1,346,409
法人税、住民税及び事業税	665,231	597,457
法人税等調整額	4,733	26,229
当期純利益	925,660	722,722
前期繰越利益	530,474	1,143,859
当期末処分利益	1,456,134	1,866,581

利益処分

(単位:円)

科目	当期	前期
当期末処分利益	1,456,134,362	1,866,581,819
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	333,128,600	336,107,600
(普通配当 1株につき20円)	(普通配当 1株につき20円)	
別途積立金	—	1,000,000,000
次期繰越利益	1,123,005,762	530,474,219

配当に関するご案内

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、利益配分につきましては業績や経営環境を勘案しながらも、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。当期の利益配当金は、上記の方針を踏まえ、普通配当を前期同様1株につき20円とさせていただきます。

株主優待のご案内

当社では株主優待制度として、100株以上ご所有(3月末現在)の株主様に、3,000円相当の当社商品を進呈しております。

本年は、ご好評をいただいております、最新40のテーマで日本の今を知る『なるほど日本知図帳』と最新47のテーマで世界の今を知る『なるほど世界知図帳』の2冊をセットでお送りいたします。

なお、株主優待品は7月上旬の発送を予定しております。



《株主優待のお問い合わせ》

株主優待事務局 03-3441-6290 (10:00~17:00/土・日・祝日を除く)



株式の状況 (平成17年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	14,927名

□大株主の状況

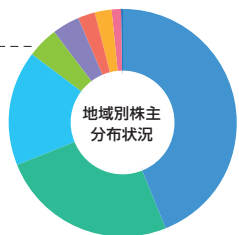
株主名	持株数	議決権比率	当社の大株主への出資状況	
			持株数	出資比率
黒田敏夫	3,574千株	21.51%	—千株	—%
黒田茂夫	1,699	10.23	—	—
昭文社社員持株会	809	4.87	—	—
エスエヌエフイーマックジャパンアクティブ シェアホルダーファンドエルビー	741	4.46	—	—
株式会社昭文社	651	—	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	645	3.88	—	—
日本スタートラスト信託銀行株式会社	611	3.68	—	—
日本証券金融株式会社	259	1.56	—	—
株式会社東京三菱銀行	246	1.48	—	—
資産管理サービス信託銀行株式会社	221	1.33	—	—



株式の分布

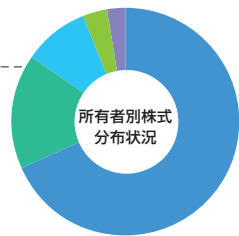
□地域別株主分布状況

関東地方	6,549名 (43.87%)
近畿地方	3,747名 (25.10%)
中部地方	2,434名 (16.31%)
中国地方	659名 (4.41%)
九州地方	581名 (3.89%)
四国地方	362名 (2.43%)
東北地方	358名 (2.40%)
北海道地方	200名 (1.34%)
外地	37名 (0.25%)



□所有者別株式分布状況

個人・その他・自己名義	11,821千株 (68.30%)
金融機関	2,811千株 (16.25%)
外国法人等	1,619千株 (9.36%)
その他法人・政府・地方公共団体	601千株 (3.48%)
証券会社	452千株 (2.61%)



会社概要 (平成17年3月31日現在)



- 会社名 株式会社 昭文社
- 創業 昭和35年5月
- 資本金 99億387万円
- 従業員数 465人
- 本社所在地 東京都千代田区麹町3-1
- 事業内容 地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作および出版販売、ならびにこれらに関連するデジタルデータベースの企画・制作・販売

□役員 (平成17年6月29日現在)

- 代表取締役社長 青柳 栄次
- 常務取締役 黒田 茂夫
- 常務取締役 奥野 暁生
- 取締役 大野 真哉
- 常勤監査役 打出 外禧
- 監査役 関 聡介
- 監査役 桑野 雄一郎

□事業所

- 本社 東京都千代田区
- 大阪支社 大阪市淀川区
- 制作本部 東京都江東区
- 札幌営業所 札幌市中央区
- 仙台営業所 仙台市若林区
- 浦和営業所 さいたま市南区
- 千葉営業所 千葉市中央区
- 立川営業所 東京都立川市
- 横浜営業所 横浜市西区
- 新潟営業所 新潟県新潟市
- 金沢営業所 石川県金沢市
- 静岡営業所 静岡県静岡市
- 名古屋営業所 名古屋市千種区
- 京都営業所 京都市中京区
- 広島営業所 広島市中区
- 福岡営業所 福岡市中央区
- 東京商品センター 東京都足立区
- 大阪商品センター 大阪府摂津市
- 埼玉製本センター 埼玉県大利根町
- 地図研究所 茨城県つくば市

IR情報も充実のホームページ

昭文社のホームページは、株主・投資家の皆様に向けてIR情報を豊富に盛り込んでいます。ニュースリリースによる最新情報や財務情報もご覧になれます。また、事業報告書のバックナンバーや株価情報も盛り込んでいますので、ぜひアクセスしてください。

<http://www.mapple.co.jp/>



□関係会社

- 日本コンピュータグラフィック株式会社
- 千葉県市原市
- 資本金 9億8,525万円
- 事業内容 マッピング・コンテンツサービス事業
およびシステムソリューション事業